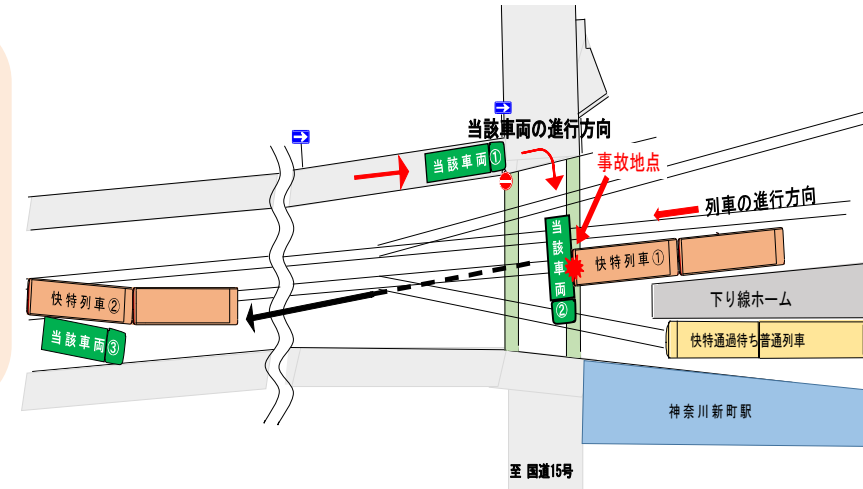


大型トラックの踏切事故（横浜市神奈川区）

【事故概要】

- ・日時：令和元年9月5日 午前11時43分頃
- ・概要：大型トラックが、踏切遮断機が下りている踏切道を通過中、列車と衝突し、大型トラックが大破（一部焼損）、列車の一部が脱線。
この事故により、大型トラックの運転者が死亡、列車の乗客15名が重傷、列車の運転士、車掌及び乗客60名が軽傷を負った。



【原因】

- ・予定していた運行経路を急遽変更し、**狭あい道路に迷い込んだ**にも拘わらず、**運行管理者等に連絡・相談することなく**、また、道幅が狭くなると認識できる状況であったにも拘わらず**道路状況を確認しないまま直進し**、踏切道に進入。
- ・運行管理者による**運転者の指導教育、運行経路の指示・確認等が適切に実施されていなかった**。（**運行管理者が病気治療のため不在**。）



【再発防止策】

- ・**必要な数の運行管理者等の選任**を行い、いかなる運行の状況にも対応できる運行管理体制を構築。
- ・道に迷ってしまったとき等は、**運行管理者等へ連絡・相談**するなど、**緊急時対応の教育**を行う。
- ・運転者の**運転経験、技量、運行する車両等を考慮した、安全な運行が確保できる運行経路の作成**。
また、**定期的に運行経路の道路状況等を確認し**、安全な運行が困難な場合には**運行経路の見直し**。
- ・始業点呼時に**道路情報等を踏まえた安全な運行経路を指示**するなど、**点呼を確実に実施**。
- ・**踏切道通過中に踏切警報機及び踏切遮断機が作動した場合**には、**速やかに踏切から退出**。
また、運行不能となった場合には、列車に対する適切な防護措置を実施。